◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

　岐阜大学協力会

　　　協力会通信（第112号：2024/8/6）

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

協力会通信は、岐阜大学協力会の会員の皆様でMailアドレスを登録された会員に配信させて頂いています。ぜひ、皆様の会社や団体の中に展開頂き、岐阜大学との産学官連携活動の活性化に有効活用頂ければ幸いに存じます。

なお、配信先の変更や中止をご希望の方は事務局にご連絡下さい。

(Mail：ccr-jimu@t.gifu-u.ac.jp)

**◯目次**

1. コラム「ひび是好日」Vol.29：パリ2024オリンピック大会
2. 大学見本市2024～イノベーション・ジャパン開催のお知らせ（再送）
3. ＜NEW＞研究シーズ提案セミナーのご案内
4. 数理・データ科学教育研究センターイベントのお知らせ
5. 名古屋大学MDSセンター講演会のお知らせ

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**1.コラム「ひび是好日」Vol.29：パリ2024オリンピック大会**

暑い夏を更に熱く盛り上げる「パリ2024オリンピック」も終盤戦に突入し、8/7にはいよいよ岐阜大学でトレーニングを積んできた、男子走高跳の赤松諒一選手（岐阜大学・医学系研究科研究生）が出場します。協力会会員の皆様も応援を宜しくお願いいたします。

まだ大会は続いていますが、この大会で最も記憶に残る出来事の１つが柔道52㎏級に出場した阿部詩選手の号泣であることは間違いないと断言できます。テレビ観戦をしていた私も、その号泣には目頭が熱くなりました。

とかく日本の武道（柔道、剣道、空手道、相撲道等）は、勝っても負けた相手の事を慮って喜びを表に出さず、負けて自分の鍛錬の至らなさを恥じて悲しみを表に出さずというのが美徳とされてきました。過去に大相撲の横綱・白鵬が優勝の喜びを会場と分かち合って協会から批判を浴びたのは記憶に新しいところです。

もし阿部詩選手が日本の試合で敗れ、号泣したのであれば、マスコミはその姿勢を叩いたかもしれません。でも会場で観戦した方々は、その姿に感動をし、大きな声援を送っていました。

柔道が武道では無く、スポーツであり、感情を押し殺さないことこそがグローバルスタンダードであることを証明した瞬間だと思います。

今後、武道においてガラパゴス的に進化した日本特有の行動規範が変わるターニングポイントになるかも知れません。大相撲で関取が勝ってガッツポーズをするのが当たり前になるかも！それも面白いですね。

**2.大学見本市2024～イノベーション・ジャパン開催のお知らせ（再送）**

今年も国立研究開発法人科学技術振興機構主催のイノベーション・ジャパンが東京ビッグサイトにて下記要領にて開催されます。

会　期：2024年8月22日（木）、23日（金）10:00～17:00

会　場：東京ビッグサイト　南1ホール

入　場：無料・来場事前登録制

公式サイト：<https://innovationjapan.jst.go.jp/>

岐阜大学からは、下記6名の先生が出展をされます

１）工学部・八田 禎之先生

テーマ：低損失及び高推力/トルク密度を実現する直動/回転モータの開発

２）工学部・大野 敏先生

テーマ：保存安定性の高い架橋形成酵素の開発とバイオマテリアルへの応用

３）高等研究院・髙須 正規先生

テーマ：ウイルス移行の心配のない新規異種移植用ブタ作製技術

４）工学部・武野 明義先生

テーマ：すぽんじへあ 毛髪を多孔化しヘヤケアを変える

５）工学部・竹森 洋先生

テーマ：細胞外小胞の薬物送達システムへの応用

６）工学部・木村 浩先生

テーマ：クレイを用いたフレッシュコンクリートの物理ゲル化

会員の皆様のご来場をお待ちしています

**3.＜NEW＞研究シーズ提案セミナーのご案内**

　▼詳細・お申し込みは、こちらをご覧ください。

　　https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/public-info/23114.html

「研究シーズ提案セミナー」は、名古屋大学教員のシーズを会員の皆様に提案し、会員様と大学との共同研究等に発展することを目的として開催しています。

今回は「宇宙天気予報とその事業化に向けて」をテーマに開催いたします。

皆様のお申込みをお待ちしております。

【開催日時】2024年9月20日（金）15:00～16:30

【開催方法】Zoomウェビナー

【参加費】無料

【対　象】名大協力会会員、後援機関会員、学内教職員

【定　員】90名

【申込締切】2024年9月13日（金）

【主　催】名古屋大学協力会、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

【後　援】岐阜大学協力会

【プログラム】

１． 主催者挨拶

２． セミナー

「宇宙天気とその社会影響について　～“文明進化型災害” に対応するために～」（キーワード：宇宙天気、太陽フレア、磁気嵐、予測・予報、災害）

講師：名古屋大学 宇宙地球環境研究所　総合解析研究部 & 統合データサイエンスセンター 教授　　　草野 完也　氏

「産学連携での宇宙事業開拓への挑戦」（キーワード：産学連携、宇宙産業、新事業創出）

講師：富士通株式会社 クロスインダストリービジネス推進室　シニアマネージャー

光田 千紘　氏

３．質疑応答

【参加申込について】

・下記の申込フォームよりお申込みください。

・視聴方法については、申込み締切後にお申込みいただいたメールアドレスへご案内します。

https://forms.office.com/r/c8psREZUGV　（Microsoft formsが開きます）

《フォームがご利用できない会員様へ》

　末尾「研究シーズ提案セミナー（9/20開催）参加申込」に必要事項をご記入後、

　名古屋大学協力会 （ kyouryokukai@t.mail.nagoya-u.ac.jp ）までお申込み下さいますようお願いいたします。

【問合せ先】名古屋大学協力会事務局

　E-mail: kyouryokukai@t.mail.nagoya-u.ac.jp

　TEL/ FAX： 052-782-1811

-----------　研究シーズ提案セミナー（9/20開催）参加申込　--------------

申込み先　： 名古屋大学協力会 kyouryokukai@t.mail.nagoya-u.ac.jp

申込み締切： 2024年9月13日（金）まで

１． 貴社名

２． ご所属部門・役職

３． お名前

４． Eメールアドレス

５． 電話番号

**4.数理・データ科学教育研究センターイベントのお知らせ**

■イベント名称:

2024年度第2期実践データサイエンティスト育成プログラム履修生・課題募集合同説明会

■イベント案内Webサイト

<https://www.mds.nagoya-u.ac.jp/programs>

https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/dpnzg2emDrAPJpx

■日時： 9月19日（木）17:20～19:00

\*説明会当日の様子は録画し、HPにて後日公開予定です。

■開催形態：オンライン（Microsoft Teams）

■対象者：名古屋大学大学院生、社会人

■参加申込：https://forms.gle/m358RPJYJ1RfPAbB9

お申し込みいただくと、参加用接続リンクが表示されます。

■プログラム概要：

超スマート社会のデータサイエンティストに必要な3要素（実世界データ知識、ツールの活用スキル、異分野との協業マインド）の育成を目的として、実践データサイエンティスト育成プログラムを開講する。

本プログラムでは、社会人・他大学・異分野の履修生とチームを組み、企業や自治体から提供される実データを用いた課題をグループワークで解決する「実世界データ演習」を実施する。

また、実世界データ演習の取組に必要な能力を養うための講義科目を開講する。

本プログラムの修了者には「修了証」を授与する。

■後援：岐阜大学協力会、中部経済連合会、名古屋大学協力会

■お問合せ先：名古屋大学 数理・データ科学教育研究センター

お問い合わせフォーム: <https://forms.office.com/r/bdKVF2rFt5>

**5.名古屋大学MDSセンター講演会のお知らせ**

■イベント名称：

「次につなげる価値ある結果を出すためのデータサイエンス～ビジネス現場で求められる必要なスキル・人財・体制～」

■イベント案内Webサイト：

https://www.mds.nagoya-u.ac.jp/mds-event/20240911

■日時：2024年9月11日（水）15:00～16:30

■開催形態：オンライン（Microsoft Teams）

■対象者：大学生・大学院生・社会人・教育関係者

■参加申込：https://forms.gle/XuikLQoy7DW4xJr89

※後日録画動画を申込者へ限定配信予定

■イベント概要：

データサイエンスに興味を持つ方の中には、「データに基づく課題解決のためには高度な数理・情報科学の知識を有するデータサイエンティストが必要」と考えている方がいるかも知れない。

しかし、高度な専門知識を持った人を集めても、理想的な課題解決が実現できるわけではない。

データサイエンスをビジネスにつなげるためには技術・人だけでなく、経験上、以下の観点に留意したプロジェクト推進体制が肝要と捉えている。

* 分析の前提条件・制約事項を明確にすること
* 依頼者との間で、データサイエンスの成果物を業務プロセスに組み込む計画の合意をとること
* 依頼者にアクションを促すアウトプットに仕上げること

本講演では、これら3点を踏まえた、ビジネス価値創出に向けたデータ利活用の勘所を提示する。

■お問合せ先：名古屋大学 数理・データ科学教育研究センター

お問い合わせフォーム: <https://forms.office.com/r/bdKVF2rFt5>

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　岐阜大学への技術相談、共同研究等のご相談は下記にお気軽にご連絡下さい。

　 東海国立大学機構 岐阜大学

　 学術研究・産学官連携推進本部 産学官連携推進部門

　 〒501-1193　岐阜市柳戸1 番1

　 TEL：058-293-2025　FAX：058-293-2022

　 Mail：sangaku@t.gifu-u.ac.jp

　 HP ：https://ari.gifu-u.ac.jp/

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

岐阜大学協力会に対するご意見、感想、質問、情報等をお寄せ下さい。

　　岐阜大学協力会　事務局　日比・武藤

　　〒501-1193　岐阜市柳戸1 番1　OKB岐阜大学プラザ301

　　（岐阜大学　学術研究・産学官連携推進本部内）

　　TEL：058-293-3187　FAX：058-293-2032

　　Mail：ccr-jimu@t.gifu-u.ac.jp

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆